

2018年 4月 11日

2016年度 COOP トリプルカード みやぎスマイル基金 助成活動報告書

みやぎ生活協同組合 理事長 宮本 弘 様
株式会社日専連ライフサービス 社長 羽生正弘 様

団体名	せんだいまちカミュージアム実行委員会	
代表者名	関口 怜子	
住所	〒980-0822 仙台市青葉区立町 20-11-2F ビーアイ内	
電話番号 022-262-2969	FAX 022-262-2975	

1. 助成事業報告

助成を受けた事業名	せんだいまちカミュージアム VOL.8
事業の目的	街を歩きながらアートに親しみ、市民が元気・遊気の交歓をするとともに、昔からいい仕事を続けている小売店が作品展示の会場となることで、出品した子どもや家族がその存在を知り訪れるようになり、まちやお店が活気づくことを目的としています。作品発表の場を街なかへ広げ、立町や大町の商店街が再び活性化し、子どもの成長を地域全体で感じられるようなまち・仙台となることが目標です。
事業の具体的内容	市内 19 カ所のお店やギャラリーに、子ども達を中心となって制作した絵画・半立体・立体作品を展示。今回は電力ビルグリーンプラザギャラリーを使用することが出来、他の展示会場とのまち歩きの動線がスムーズになり、より楽しんでもらいやすくなりました。 また、京都から染色作家を招き、彼の作品展示と「野染めワークショップ」を行い、多くの人が草木染料の魅力や可能性を体験しました。展覧会の様子を撮影したDVDも制作し、You tube にアップするなど、新しい試みにチャレンジしました。
活動の開始から完了までの流れ	約 1 年前にギャラリーを予約するところから始まり、年間を通して作品制作をしています。半年前には会場となるお店へ依頼状を出し、日程確認・調整をします。紙のメディアへの企画掲載依頼や、マスコミへのプレスリリース、SNS (ツイッター・facebook など) での周知を行うほか、これまでに関わりのあった人や場所へは

	<p>直接作品展の案内を送付しています。</p> <p>外部講師を招いての企画は約 7 カ月前から打ち合わせ・日程調整・を行っています。</p> <p>12～2月にかけて、出品する作品の選定、メイキング（ネーム・キャプションの作成、台紙張り、額装、ひもかけ等）、マップの作成、ギャラリー当番の呼びかけ等を行います。</p> <p>搬入は多くの人の手を借り、一斉に行い、会期中は制作の中心となった子ども達が作品を見て歩く時間を設けています。会期終了の翌日にどの会場も搬出しています。</p>
活動の成果と教訓	<p>各会場に用意していたメッセージカードに、作者宛のコメントを寄せていただいているのですが、今年は総数 638 枚もちょうだいし、今後の作品制作の大きな励みとなりました。また、展示していただいたお店の人に挨拶をしたり、お手紙を書いたりすることで、子ども達が感謝の気持ちを自分の言葉にして伝える貴重な機会となりました。</p>
今後の展望など	<p>どこにどの作品を展示するか、もう少し早く決定できると、マップに掲載できるのですが、それがなかなか難しいです。また新たな展開として、一般参加を呼び掛け『せんだいまち歩きツアー』で作品展を見てもらう仕掛けが出来たらと考えています。</p>

2. 助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額（円）	備考
みやぎスマイル基金助成金	300,000	
財団助成金	130,000	市民文化事業団 60,000 宮城県文化振興財団 70,000
自己資金	324,663	会費・WS参加費 団体補てん金
合計	654,663	

■ 支出の部

費目	内容	予算額 (円)	実支出額
外部の出演料	講師謝金	60,000	60,000
	宿泊・食事代		79,260
	交通費 (仙台—京都 2名)	50,000	60,000
通信運搬費	郵送費・宅急便		54,880
	搬入駐車場代	50,000	5,800
消耗品・制作材料	画材・事務用品	150,000	167,327
委託費	搬入・展示		20,000
	DVD制作	40,000	20,000
	アルバイト	30,000	30,000
印刷・広報費	マップ・パンフ印刷、ラミネート、インク、用紙代	140,000	133,994
使用料	川辺作品使用料	70,000	20,000
その他	花代	10,000	3,402
合計		600,000	654,663

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

3. 送付必要書類

- (1) みやぎスマイル基金 助成活動報告書
- (2) 領収書のコピー
- (3) 成果物 (活動をまとめた冊子、パンフレットおよび写真など)